

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2019年9月)

【内政】

- 5日、内閣改造が行われ、第3次タロン内閣が成立した。本改造により2つの省庁が2分された。主要閣僚は留任、新任閣僚は6名と小規模な改造となった。(6日, La Nation 紙)
- 17日、ヤイ・ボニ前大統領が名誉総裁を勤める FCBE 党は、政党仮登録証の交付を受けた。(23日, Le Matinal 紙)

【外政】

- 2日、タロン大統領は TICAD7からの帰国直後アビジャンを訪問し、ウワタラ・コートジボワール大統領と会談した。外交筋によれば、西アフリカの地域問題について協議したものとされている。(3日, Le Matinal 紙)
- 12-14日、タロン大統領は、ブルキナファソ・ワガドゥグで開催された ECOWAS の臨時首脳会談に出席した。主題はテロとの戦いであった。(16日, Le Matinal 紙)

【治安】

- 9日、ベナン陸軍の軍用車がサヴェ市において巡回中事故に遭い、軍人3名が死亡、その他複数名が重傷を負った。参謀本部長も負傷し、負傷者らはゴホ市にある県立病院に運ばれた。(10日, La Nation 紙)

【経済】

- 3日、ウンパティン保健大臣は、遠藤設計事務所と病院建設事業3件に関する署名を行った。(5日, Le Matinal 紙)
- 13日、西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO)のベナン支部は、ベナンの2019年第2四半期の経済成長率が7.2%に達したことを発表した。第1四半期の成長率は、6.8%であり、その数値を上回る成長率を達成した。(17日, La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 5日、内閣改造が行われ、第3次タロン内閣が成立した。本改造により2つの省庁が2分された。主要閣僚は留任、新任閣僚は6名と小規模な改造となった。(6日, La Nation 紙)
- ・ 17日、ヤイ・ボニ前大統領が名誉総裁を勤める FCBE 党は、政党仮登録証の交付を受けた。(23日, Le Matinal 紙)

- ・ 17日, 非政府組織ソーシャル・ウォッチ・ベナンは, 公的債務問題について議論するフォーラムを開催した。(18日, L'Économiste 紙)
- ・ 19日, ドスウイ農業・畜産・漁業大臣及びアスマン産業・商業大臣は, ナイジェリアによる国境閉鎖問題への対処についてグラズエ市の農業・畜産従事者と意見交換を行った。(20日, La Nation 紙)
- ・ 19日, トナト生活環境・持続的開発大臣は, ブリュモ駐ベナン・フランス大使と共同でアフリカの都市政策及び包摂的な経済発展に関する意見交換会を行った。(20日, La Nation 紙)
- ・ 23日, タロン大統領の要請に基づきヴラヴォヌ国民議会議長は議会を招集し, 2019年第6回特別会期が開会した。審議事項は, 政府実施の事業の予算案の採択に関わるものである。(24日, La Nation 紙)
- ・ 24日, ビオ・チャネ計画・開発担当国務大臣を中心とした政府行動計画(PAG)の資源動員委員会のメンバーは, 本計画に必要な総資金の54.7%が2019年8月末までに集まったことを報告した。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, 閣議が開催され, タロン大統領は2020年の予算法案を採択した。1兆9869億フランCFA(約4千億円)に及ぶ予定であり, 経済構造の改革を中心に支出されることとなる。(30日, La Nation 紙)

【外政】

- ・ 2日, タロン大統領は TICAD7からの帰国直後アビジャンを訪問し, ウワタラ・コートジボワール大統領と会談した。外交筋によれば, 西アフリカの地域問題について協議したものとされている。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 3日, アベノンシ外務・協力大臣は, 小西淳文駐ベナンと共同で TICAD7の報告記者会見を行った。(4日, La Nation 紙)
- ・ 9日, ヴラヴォヌ国民議会議長は, ベルギーのユイ市(Huy)の代表団を迎え入れ, 都市間の国際協力について意見交換を行った。(11日, La Nation 紙)
- ・ 10日, アベノンシ外務・協力大臣は, キューバの対外関係省副大臣と会談し, 二国間関係の強化について議論した。(12日, La Nation 紙)
- ・ 11日, ヴラヴォヌ国民議会議長は, キューバの対外関係省副大臣と会談し, 二国間関係の強化について議論した。(13日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 12-14日, タロン大統領は, ブルキナファソ・ワガドゥグで開催された ECOWAS の臨時首脳会談に出席した。主題はテロとの戦いであった。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 18日, 赤道ギニアの総領事はアベノンシ外務・協力大臣に信任状を奉呈した。(19日, La Nation 紙)
- ・ 26日, アベノンシ外務・協力大臣は, フィンランド, パキスタン, チェコ, インドネシアの4か国の大使から信任状の副本を受け取った。(27日, La Nation 紙)

【治安】

- ・ 1日, アリボリ県バニコアラ市で水害が発生し, 2名が死亡した。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 9日, ベナン陸軍の軍用車がサヴェ市において巡回中事故に遭い, 軍人3名が死亡, その他複数名が重傷を負った。参謀本部長も負傷し, 負傷者らはゴホ市にある県立病院に運ばれた。(10日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 共和国警察は, 複数の都市において犯罪対策を実施したことを公表した。対策は, 不法行為を犯したものの逮捕, 盗難バイク・武器等の押収であった。(23日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 閣議は治安改善のため, 国際刑事警察機構とのパートナーシップ協定に署名することを決定した。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, カンディ市共和国警察は, 26.5kg の象牙を密輸者から押収した。(30日, Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 3日, ウンパティン保健大臣は, 遠藤設計事務所と病院建設事業3件に関する契約の署名を行った。(5日, Le Matinal 紙)
- ・ 3日, ナイジェリア税関は, ベナンとの国境沿いの拠点数カ所において, ベナンから輸出された密輸品を押収した。総額は6,500万フラン CFA(1,300万円相当)を超える。(4日, L'Économiste 紙)
- ・ 6日, 中国・ベナン遠隔医療センターがロコサ市・モノ・クッフオ県医療センターに開設された。ベン・ジンタオ駐ベナン中国大使が開設式に出席した。(10日, L'Économiste 紙)
- ・ 9日, ABE イニシアティブ第6バッチで日本に留学するエマニュエル・アゴス氏の壮行会がアザライホテルにて行われた。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 13日, 西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO)のベナン支部は, ベナンの2019年第2四半期の経済成長率が7.2%に達したことを発表した。第1四半期の成長率は, 6.8%であり, その数値を上回る成長率を達成した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 投資・輸出促進局(APIEX)は, 直近4か月の起業件数が9,552件に及んだことを公表した。(23日, La Nation 紙)
- ・ 21日, セメ・ポジ市における中国による養鶏農家及びトウモロコシ栽培農家を対象とした第3回技術普及セミナー(20日間)が終了した。(23日, La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 先月実施された教員評価の結果が公表され, 合格率は50.74%であることが明らかにされた。(16日, La Nation 紙)
- ・ 13日, 在ベナン中国大使館及び中国文化センターは, 建国70周年を記念する催しの一環で雲南省の雑技団をコトヌに招き, 公演を行った。(16日, La Nation 紙)

- ・ 15日, ベン・ジンタオ駐ベナン中国大使は, 建国70周年を記念する催しとしてベナンの約10都市で開催する中国映画の上演会の開会式を行った。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日, ベナン全土で学校の新学期が始まった。(17日, La Nation 紙)
- ・ 16日, ドイツ GIZ は, 農業に関する政策を立案し適切な意思決定を促すため, 農業セクターの関係者を啓発する協議会を実施した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 17-20日, タロン財団は学校の新年度開始にあたり, モノ県・クッフオ県における貧しい家庭出身の子供たちを対象に文具を8,000キット供与した。(23日, Le Matinal 紙)